

## 定期演奏会ごあいさつ

校長 久保田 範夫

本日は、大変お忙しい中、安積高等学校吹奏楽部の第48回定期演奏会に御来場いただきまして、誠にありがとうございます。

定期演奏会は、吹奏楽部にとって年に一度の大きな発表の場であります。部員たちは、安積の精神でもある文武両道を実践するべく、日々の勉学に励みながら、毎日遅くまで、そして休日も返上して練習を続け、この日に照準を合わせて楽しく素晴らしい演奏を準備してきました。どうぞ、存分にお楽しみください。

東日本大震災から4年3か月が経過しましたが、福島県の復興はまだまだこれからという感があります。震災後、様々な音楽によって人々の心を癒し、生きる力と希望を与える取組みがたくさんあり、改めて音楽の持つ大きな力を認識させられました。音楽は、過ぎ去りし昔やまだ見ぬ異国の情景を鮮やかに描き出し、人と人、人と世界とのつながりを実感させます。また、言葉だけでは捉えられないものを伝えようとする音楽は、私たちの想像力を豊かに刺激し続けます。そして、人々の心を癒し、聴く人々に生きる活力と希望を与える音楽は、これからも福島県の復興を支え続けてくれると思います。

最後になりますが、この演奏会の開催に当たり、大勢の方々からの温かい御支援や励ましのお言葉を頂きましたことに感謝いたします。今後とも、安積高等学校吹奏楽部に対し、御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。